



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 ホクト株式会社

上場取引所 東

コード番号 1379 URL <http://www.hokto-kinoko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高藤 富夫

TEL 026-259-5955

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	37,807	△1.4	5,261	△32.0	4,963	△31.0	2,455	△41.3
23年3月期第3四半期	38,355	8.0	7,733	15.6	7,193	9.5	4,185	15.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,298百万円 (△40.3%) 23年3月期第3四半期 3,849百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	74.36	—
23年3月期第3四半期	126.74	126.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	65,230	44,794	68.6
23年3月期	61,582	44,318	71.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 44,739百万円 23年3月期 44,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	46.00	56.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	46.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,200	0.0	7,800	△20.9	7,400	△23.2	4,000	22.0	119.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	33,359,040 株	23年3月期	33,359,040 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	336,852 株	23年3月期	336,609 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	33,022,321 株	23年3月期3Q	33,022,815 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による消費マインドの冷え込みや企業活動の停滞などから個人消費が低迷していたものの、復興需要や新興国市場への輸出などにより一部持ち直しの動きが見られました。しかしながら、米国の景気減速や欧州による財政問題などを背景とした円高基調や株価の低迷により、依然として国内景気は先の見えない状況で推移しております。

一方、きのこ業界におきましては、震災の影響による消費マインドの冷え込みや、原子力発電所の事故による風評被害から、全般的に野菜価格が低迷し、きのこ単価も引きずられる形となりました。

このような経済環境のなか、当社グループは製品の安全性に万全の体制で臨むとともに、各事業におきまして収益の拡大に努めてまいりました。当社グループの中核を占めますきのこ事業におきましては、当期9月より佐久第2きのこセンターが出荷を開始いたしました。また、福岡八女きのこセンターが通年の出荷となったことから、東日本大震災の被災により宮城きのこセンターが9月まで出荷を停止していたものの、当第3四半期連結累計期間の生産量は前年同期並みとなりました。

また、販売面におきましては、前半、震災による消費の低迷ムードや原子力発電所の事故による風評被害などから野菜価格が全般的に低迷いたしました。また、後半、デフレによる影響から販売量は堅調に推移したものの、きのこの販売単価もそれに引きずられる形となったことから、売上高は計画に対して未達となりました。また、化成品事業におきましては、まだまだ厳しい環境が続いているものの、原材料や資材価格も安定し、新規開拓などの積極的な営業活動により、ほぼ計画どおり推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は378億7百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益52億61百万円（同32.0%減）、経常利益49億63百万円（同31.0%減）、四半期純利益24億55百万円（同41.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[きのこ事業]

きのこ事業におきましては、生産の拡大と品質の向上、販売の強化を中心に業績の拡大に努めてまいりました。生産部門におきましては、当期9月より佐久第2きのこセンターがエリンギの出荷を開始いたしました。また、東日本大震災の被災により宮城きのこセンターが9月まで生産を休止していたものの、前期より生産を開始いたしました福岡八女きのこセンターが通年の出荷となったこと、子会社である米国のHOKTO KINOKO COMPANYの工場におきまして稼働率を高め、徐々に出荷量を増加させていることから、当第3四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジが30,966 t（同0.2%減）、エリンギ13,427 t（同6.5%増）、マイタケ8,285 t（同1.0%減）となりました。また販売面におきましては、消費者の生活防衛意識からくる内食傾向により販売量は堅調に推移したものの、震災の影響によりきのこ単価が落ち込んだことから、売上高は計画を下回る結果となりました。

以上の結果、きのこ事業全体の売上高は312億23百万円（同4.1%減）となりました。

[化成品事業]

化成品事業におきましては、厳しい販売環境が続くものの、包装資材部門を中心とした新規開拓の強化や農業資材部門を中心とした大型受注の獲得など販売を拡大してまいりました。また、震災による原材料や資材価格への影響は軽微であり、ほぼ計画どおり推移いたしました。

以上の結果、化成品事業全体の売上高は65億84百万円（同13.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①資産の部

資産の部は、652億30百万円となり、前連結会計年度末より36億48百万円増加いたしました。流動資産は144億94百万円となり前連結会計年度末より18億50百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金17億74百万円の増加によるものであります。固定資産は507億35百万円となり、前連結会計年度末より17億97百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産17億31百万円の増加によるものであります。

②負債の部

負債の部は、204億36百万円となり、前連結会計年度末より31億72百万円増加いたしました。流動負債は193億44百万円となり前連結会計年度末より33億26百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金10億3百万円と短期借入金45億円の増加、及び未払法人税等18億32百万円の減少によるものであります。固定負債は10億92百万円となり、前連結会計年度末より1億54百万円の減少となりました。これは主に長期借入金1億55百万円の減少によるものであります。

③純資産の部

純資産の部は447億94百万円となり、前連結会計年度末より4億76百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金6億6百万円の増加と、その他の包括利益累計額1億57百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月2日に開示いたしました通期の連結業績予想を修正しております。修正の詳細は、平成24年2月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。なお、これによる影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,771	4,648
受取手形及び売掛金	3,205	4,979
商品及び製品	1,009	1,216
仕掛品	2,427	2,814
原材料及び貯蔵品	369	440
その他	877	407
貸倒引当金	△17	△10
流動資産合計	12,644	14,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,749	39,858
減価償却累計額	△14,743	△15,648
建物及び構築物 (純額)	24,005	24,209
機械装置及び運搬具	18,417	20,778
減価償却累計額	△10,486	△11,846
機械装置及び運搬具 (純額)	7,931	8,931
土地	11,111	11,281
その他	1,958	2,422
減価償却累計額	△1,022	△1,130
その他 (純額)	935	1,292
有形固定資産合計	43,984	45,715
無形固定資産	169	330
投資その他の資産	4,784	4,689
固定資産合計	48,938	50,735
資産合計	61,582	65,230
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,988	4,992
短期借入金	3,500	8,000
未払法人税等	3,268	1,435
引当金	734	398
その他	4,526	4,518
流動負債合計	16,017	19,344
固定負債		
長期借入金	1,099	943
引当金	8	8
資産除去債務	46	42
その他	92	97
固定負債合計	1,247	1,092
負債合計	17,264	20,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,692	5,692
利益剰余金	34,513	35,119
自己株式	△716	△716
株主資本合計	44,989	45,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△147	△218
為替換算調整勘定	△550	△637
その他の包括利益累計額合計	△698	△855
新株予約権	27	54
純資産合計	44,318	44,794
負債純資産合計	61,582	65,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	38,355	37,807
売上原価	22,986	24,586
売上総利益	15,369	13,221
販売費及び一般管理費		
販売手数料	2,525	2,360
運搬費	2,046	2,142
賞与引当金繰入額	59	73
その他	3,004	3,383
販売費及び一般管理費合計	7,636	7,960
営業利益	7,733	5,261
営業外収益		
受取配当金	73	62
受取地代家賃	116	134
助成金収入	109	90
その他	23	58
営業外収益合計	323	346
営業外費用		
支払利息	59	55
為替差損	771	581
その他	32	8
営業外費用合計	862	645
経常利益	7,193	4,963
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
受取保険金	—	54
貸倒引当金戻入額	15	—
その他	1	—
特別利益合計	27	54
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	5	43
災害による損失	—	93
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
その他	1	0
特別損失合計	11	137
税金等調整前四半期純利益	7,209	4,879
法人税、住民税及び事業税	2,712	1,526
過年度法人税等	—	450
法人税等調整額	311	446
法人税等合計	3,024	2,423
少数株主損益調整前四半期純利益	4,185	2,455
四半期純利益	4,185	2,455

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,185	2,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	△70
為替換算調整勘定	△127	△86
その他の包括利益合計	△335	△157
四半期包括利益	3,849	2,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,849	2,298
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。